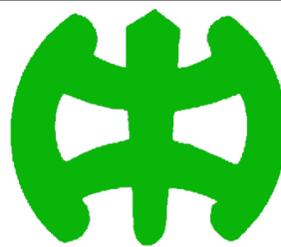




翌檜新聞



志 寛 錬

～号外～
2023.3.13
第77代
伊敷中生徒会

明日、三月十四日は第七十六回卒業式が行われ、三年生二百四十六名がこの伊敷中学校を旅立ちます。三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。伊敷中学校に入学して間もないころに見た朝作業や無言移動、無言作業などはとても素晴らしいもので、私たち後輩の追うべき背中でした。その先輩方を手本にこの二年間生活をしてきました。また、体育大会や文化祭、音楽コンクールなどの学校行事への取り組み方は私たちの憧れで、素晴らしいものを作り上げる姿は私たち後輩には輝いて見えました。皆さんは来春から、

今までとは全く違う環境に身を置くことになり、環境が変わるといふことに不安を抱いている人も多いと思います。しかし、私たちが出会って見てきた先輩方の背中へ、とても立派でたくましく、多くのことを教えてくださいました。だから

先輩方ならばこの先どんな困難にぶつかったとしても、乗り越えていけると信じています。歌手のテイラー・スウィフトの言葉に「If somebody hurts you, it's okay to cry a river. Just remember to build a bridge and get over it.」という言葉があります。「もしも誰かがあなたを傷付けたら、川のような量の涙を流したって良い。大切なのは、そこに橋をかけて乗り越えることである」という意味です。自分の力を信じて、どんなときも前向きに、そしてひたむきに夢に向かって頑張ってください。

田代紅愛さんにインタビュー

Q. 受験生になるにつれて大切なことは何ですか？
A. 勉強の習慣をつけ、毎日机に向かいコツコツと積み重ねること、自習の環境を作ることです。
Q. 受験生になって一番大変だったことは何ですか？
A. 周りとの差がつかないからこそ苦手分野の克服をするということです。
Q. 生徒会活動に会長として取り組んだ中での思い出は何ですか？
A. 目安箱を生かして制服の更衣期間を変えられたことです。
Q. 在校生に一言お願いします
A. 変えたいことを自分たちで発信し、過ごしやすい学校作りの方法を考えていってください。
田代さん、ありがとうございました。
(谷口 蓮)

川内先生

今回は黄学年の先輩方の卒業を記念して、主任・副主任の先生方にインタビューをしました。
Q. 黄学年はどんな学年でしたか？
A. 素直で、優しく、とても明るい学年ですね。
Q. 黄学年のいいところは？
A. 行事などがあるとき、みんなが頑張ろうと協力して何事にも元気に取り組むところですね。
Q. 一番心に残っている思い出は何ですか？
A. 修学旅行ですね。コロナの影響で一泊しか泊れなかつたりバスの中などでもおしゃべりができなかったりと制限がありましたが、みんながルールを守ってくれたおかげで、充実した楽しい旅行ができたことが印象に残っています。
Q. 卒業生の皆さんに一言お願いします。
A. 中学校で教えられることは教えきつたので、あとは決めた道を一生懸命突き進んでください。
(山口 依世)

本田先生

Q. 黄学年はどんな学年でしたか？
A. 思いやりと優しさがあり、常に明るい学年でした。
Q. 黄学年のいいところは？
A. 思いやりと優しさがあり、常に明るいところもですが、一番は「やるぞ」となったときに、皆で団結して取り組むところですね。
Q. 一番心に残っている思い出は何ですか？
A. 修学旅行や立志式、体育大会もあるかな。どれも鮮明に覚えているので、どれか一つには決められなないな。
Q. 卒業生の皆さんに一言お願いします。
A. 皆さん、これから色々な体験をして、色々な人と出会って、大きく成長してくださいね。
先生方、たくさんの方に愛にあふれたご回答をありがとうございました。
三年生の未来が幸多きことを願っています。
(上玉利 歌音)

三年部の先生方にインタビュー

卒業式もいよいよ明日に迫った今日。本格的に別れの季節が近づいてきました。三年生は中学校を卒業し、また新たな生活を始める時期がやってきます。二年生は最高学年となり、下級生を引っ張っていく時期が、一年生は、新しく入学して一年が近づいてきています。さて、思い返せばこの一年間たくさんのお出来事がありました。体育大会や文化祭などの学校行事に加え、友達や先生方と過ごした日々、嬉しかったこと、楽しかったこともたくさんありました。時には悲しいこと、辛いこともたくさんありました。そして、それらの出来事から学んだことがそれぞれあったのではないのでしょうか。明日の今頃、卒業式を終えた三年生は、きっと晴れとした表情でこの伊敷中学校を巣立っていくのでしよう。先輩方、今日まで本当にありがとうございました。